

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	草加市児童発達支援センターあおば学園			公表日	令和 8年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	3	0	・個々の子どもの特性に応じて危険のないよう配慮している	活動量や安全面を踏まえた空間の使い方を継続的に見直す必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	19	0	・仕様書の配置基準以上に基づき必要人数を確認しながら、日々の配置調整と役割分担の共有を行っている。	・丁寧な療育をするためには人数比だけではなく、必要な支援を考えていかなければならない。 ・個別対応が必要な児童もいるが、それでも大人が多く必要以上にいる時があるように感じる。 ・にじいるタイム等職員が一定数抜けてしまう時間が有り、子どもの安全を確保できていない。 ・職員の力量にもよるが、クラス担任2名体制は厳しいのではないかと感じる。 ・職員数が足りないと思うときがある。休みの対応に難しさがある。 ・どの時間に何人必要、誰がどこに入るなどスケジュール管理をする必要がある。 ・担任が不足している ・個別対応の必要が生じた場合、フリーの保育士が必要だと思ふ。 ・少し足りないと感じる。 ・現在退職者がいて、欠勤の人がいると適切でない時がある ・保育士の人数が足りないと感じた。 ・担任以外のフリーの保育士を配置するなど、対応策に着手しているが令和8年度は職員も安心して働ける環境づくりに更に努力したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	10	0	・掲示や動線を工夫し、分かりやすい環境設定に努めている。	・わかりやすく工夫している努力も見られるし、今後良くなると思う ・視覚的な情報や指示の提示がほとんどない、環境からパーテーション等も置かれていない ・ホールに電話が必要だと思ふ ・ホールに情報伝達に必要な内線が使えないのは不便である ・電気・エアコンのスイッチが子ども達が手の届くところに設置されている ・階段の扉の開閉が難、鍵に不具合がある ・もう少し図や絵など、どう行動する場所かなど分かりやすくしてあげるといい ・階段、大きな扉など動線が不便なつくり ・環境面での不具合等については、早急に改善していきます。 ・ホールへの情報伝達について子機の購入を考えていきます。 ・クールダウンやプライバシーの保護等の点を踏まえ、パーテーションを準備します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	3	0	・全体で活動することは難しいクラスが多いので、少数でクラス内で活動しているのはいいと思いました	・外部の業者に委託しているが、掃除される場所が限られている。また、職員がその他の場所の掃除を行える時間がない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	3	0	・静養室の利用など。	・したい状況が度々あっても人手不足でしてあげられない。 ・そのような事を行えるほど、職員配置がされていない。 ・状況に応じて必要な支援が行えるように、職員の配置（人員増）を考えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	8	0	・個別支援計画において実施できていると思う。	・細かく狙いや環境設定がされておらず、「どうして」の根本が究明できていない。 ・話し合いの時間が少ないと感じる。 ・問題が起こった場合、反省で終わることが多い。どのような状況で何が問題だったのかを検討することが必要だと思う。 ・問題点の取り組みについてPDCAサイクルを意識した話し合いの場を維持していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	4	0	・保護者評価の結果を職員間で共有し、改善検討につなげている。	・ペアレントトレーニングについては実施に向けてどのようにしていくかを考えている段階。 ・埼玉県主催の研修への参加をしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	5	0	・会議や日々の申し送り意見交換の機会を設けている。	・一年を通して、一方的な場面が多い気がしました。 ・定期的なケースカンファレンスや事例検討会等がない。 ・ケースカンファレンスは計画的に実施できるよう検討していきます。 ・クラス内での話し合いの場を増やし、気づいたことや疑問点等を伝え合う機会を設定します。 ・定期的なケースカンファレンスや事例検討会については、日時（毎月〇週〇曜日等）を決め行っています。

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	5	0	・心理士巡回→FB。	・結果や改善につながっていない気がします。 ・外部評価をうけているのか分からない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	6	0	・研修案内や園内共有を行い、学ぶ機会の確保に努めている。	・勤務時間として受けられる外部の研修が限られている。 ・より研修に参加しやすい環境づくりをしています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	4	0	・園内で協議し作成後、公表している。	・支援計画の作成に携わる会議に出席する専門職が心理士のみに。 ・専門職との連携をより強固にします。 ・支援計画関連の年間スケジュールを早めに作成、周知し、専門職が参加しやすい環境を作っています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	3	0		・アセスメントがしきれていない。子どもと丁寧にかかわれるほど職員がいない。根本までたどり着いていない。 ・職員が増えることでより丁寧な関わりができると考えます。職員間で子どもの姿を共有することで、適切なアセスメントが行えるようにします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	2	0	・計画作成会議の場で複数の職員で意見を出し合い、共有している。	・別冊しか見えていない支援が多く、20年後の姿等が考えられていない。 ・個別支援計画の内容を職員が理解し実践できるように、アセスメントやモニタリングを充実していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	3	0	・個別支援計画を共有し、支援内容の確認に努めている。	・共有はするが、児の話し合いをする時間はない。に等しい ・お子さんの支援計画の内容を把握できていない職員が多い。 ・日々の振り返りや、モニタリング等の機会を増やし、話し合いを増やす努力をします。 ・個別支援計画の内容を職員が理解し実践できるように、アセスメントやモニタリングを充実していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	5	0		観察や記録の精度を高め、より丁寧なアセスメントにつなげる必要がある。 ・個別支援計画の内容を職員が理解し実践できるように、アセスメントやモニタリングを充実していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	3	0	・ガイドラインを踏まえ、必要な支援項目を計画に位置付けている。	・支援内容が設定されていても、支援をする職員が把握できていない。 ・個別支援計画の内容を職員が理解し実践できるように、アセスメントやモニタリングを充実していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	8	0	・クラス内で相談しながら活動内容を立案している。	・支援内容が設定されていても、支援をする職員が把握できていない。 ・個別支援計画の内容を職員が理解し実践できるように、アセスメントやモニタリングを充実していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	5	0		・主活動のにじいろタイムが固定化している。 ・午前も午後も園庭遊びが多く占めている。 ・設定遊びや課題遊びの内容を充実させ、5領域の発達支援に沿った遊びを行います。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	3	0		個別と集団のねらいを整理し、より効果的な組み合わせを考えます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	3	0		・クラスによるが、職員配置（だれの補助をするか）等が定まっていない。 ・新年度の体制決定後、各クラスで職員間の役割等を確認し実践していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	4	0		・話す時間が足りない。 ・バスの添乗があり、その時間が設けられていない。 ・職員が増えるので、担任、他の職員の業務内容等を整理し、話し合いの場の設定をします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	3	0	・記録様式を用いて日々の支援内容を記録している。	・記録の活用方法を見直し、検証・改善につなげる工夫が必要である。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1	0	・定期的に支援内容を振り返り、見直しにつなげている。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	3	0	・必要に応じて担当者会議に参加し、情報共有を行っている。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1	0		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	1	0	・文書または電話等で移行先に情報を提供している。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	2	0		・わからない。 ・文書または電話で情報を提供し引継ぎを行っている。 ・スタンド会議、通所会議等で周知を行います。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	1	4	・市内障害児通所支援事業所連絡協議会に参加している。	
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	4	4	・外部専門家による助言を受ける機会を設けている。また、外部・園内における研修への参加もしている。	
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	2	4	・管理者、相談支援専門員が参加している。	・わからない。 ・スタンド会議、通所会議等で周知を行います。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	15			

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14		6	・交流保育を実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	16	1	3	・連絡帳や面談、日々のやり取りで状況共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	9	3	・保護者交流会(卒園児保護者と在園児保護者)を年2回実施。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		3		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	1	0	・計画作成会議の場で複数の職員で意見を出し合い検討している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	1	0	・個人面談、家庭訪問の場で説明及び交付を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	2	0	・必要に応じて面談や個別相談の機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	5	0		・きょうだい同士の交流は実施できていない。 ・きょうだい同士の交流の場はないので、今後参加できる行事があったらいいのではないかと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	2	0		・相談しやすい周知方法と対応体制の継続的な見直しが必要である。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	1	0	・園だより・HP ・園だより、給食だより、ほけんたより等を定期的に発行している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	1	0	・書類やデータの管理方法を確認し、適切な取扱いを行っている。		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	2	0		・保護者と直接話せる機会が少なく、家族との連携が取りづらい。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	12	0	・近隣の保育園を招き、交流する場を設けた。	・実施の機会はまだ作れていない。 ・地域住民を招待していない(そのような行事はない) ・まだこれからかと思っている。 ・挨拶してくださるあたたかい方も多く、ふれあいのようなものができてよいのでは。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	1	0	・各種マニュアルを整備し、訓練を実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	1	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	1	0	・入園時や必要時に健康情報を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19	1	0	・現在は対象児はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	1	0	・研修案内や園内共有を行い、学ぶ機会の確保に努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	2	0	・ヒヤリハットを記録し、職員間で共有している。	・共有はしているが、再発防止に対する検討は不十分に感じる。 ・報告は都度行っており、再発防止の検討については、直近の通所会議の場で議題にし、話し合います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	2	0	・虐待防止のための外部や園内の研修を行い、適切な対応に努めている。	・勤務体制を調整し、より参加しやすい研修環境を整える必要がある。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	9	0	・計画への記載の必要性を身体拘束適正化委員会で確認した。 ・委員会はあるがまだ事例がない。 ・記載しているが分からない。 ・当アンケート実施後に児童発達支援管理責任者より、個別支援計画への記載(令和8年度より)を説明しました。 ・令和8年3月に身体拘束適正化委員会を開催し、一部内容について支援計画に記載します。		